

平素は、本校教育に、ご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この学校評価アンケートは、児童・保護者・学校の三者で行い、年間2回実施を企画しています。第1回学校評価アンケートの結果をお知らせ致します。

令和6度 久我の杜小学校 第1回学校評価



学習面



	児童			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
先生や友だちの話や意見を最後まで聞いている。	51%	41%	7%	1%
授業中、自分の思いや考えを發表している。	38%	29%	26%	7%
学校の授業はよくわかる。	53%	37%	9%	1%
進んで読書をしていますか。	40%	34%	17%	9%
家庭で、毎日学習をしている。	52%	30%	10%	8%
	30分以内	30分から1時間	1時間から1時間半	1時間半以上

	保護者			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
先生や友だちの話や意見を最後まで聞くように声かけしている。	20%	69%	10%	1%
自分の思いや考えを伝えるように促してしている。	20%	70%	9%	1%
学校での学習内容をよく理解していると感じる。	18%	59%	21%	2%
進んで読書をするような環境づくりをしていますか。	10%	19%	52%	19%
お子さんは、どれくらいの時間学習していますか。	39%	47%	11%	4%
	30分以内	30分から1時間	1時間から1時間半	1時間半以上

	教職員			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
先生や友だちの話や意見を最後まで聞くように指導している。	41%	59%	0%	0%
自分の思いや考えを發表できるように工夫している。	15%	85%	0%	0%
分かりやすい授業を行うように心がけている。	11%	89%	0%	0%
読書の習慣が定着するように積極的な図書室利用や読書ノートの活用などに取り組んでいる。	15%	52%	22%	11%
家庭学習に取り組むように、声かけ課題の出し方に工夫をしている。	15%	74%	4%	7%

☆「自分の思いや考えを發表している」

出来ていると感じている児童が67%と、【聞く】に比べると落ち込んでいますが、昨年よりも伸びが見られます。子どもたちも、苦手ながらも發表を頑張ろうと意識していることと、保護者からの声かけ・教員の発問や發表の場の工夫などの三者の思いが同じ方向を向いて取り組めている成果だと考えられます。伸びてきているとはいえ、まだまだ他の項目と比較すると落ち込みが見られます。引き続き、学習の中で、話型を決めて話したり、答えが必ず分かることなど誰もが自信を持って話したりという経験を積み、話すことへの不安を取り除いていけるようにしていきたいです。

☆「家庭の学習時間」

半数の児童が、家庭での学習時間は30分以内と回答しています。低学年は、まずは毎日の宿題をきっちりやりきることが大切です。しかし、中学年・高学年では、進んで予習や復習など宿題以外の学習へと意欲をつなげてほしいですね。学習時間が伸びない原因として、早く遊びたい・面倒であるなどの気持ちもあるかと思いますが、宿題以外にどんな学習をすればよいのかが分からず取り組めていないことが考えられます。高学年は、中学校に向け、自分の苦手なところや、テストに向けての勉強、授業の復習などを行ってほしいですね。今年度も校内で「自学グランプリ」を行っています。調べたい内容を考えて、じっくり自学に取り組むのも習慣づける第一歩ですね。

☆「進んで読書を」

少しではありますが、こちらも昨年度に比べると伸びが見られました。育成学級児童の1年生への読み聞かせ、6年生の育成学級への読み聞かせ、地域の方の1年生や育成学級への読み見聞かせなど取り組みの成果が出てきていると考えられます。校区に図書館があるという素晴らしい環境をどんどんと活かしていきたいですね。

■ 昨年度より増加

■ 昨年度より減少

生活面



	児童			
	よく 出来ている	大体 出来ている	あまり 出来ていない	出来ていない
先生や友だちに大切にされている。	48%	41%	8%	3%
人を大切にした言葉づかいや行動をしている。	45%	43%	9%	3%
自分からあいさつをしている。	51%	27%	14%	9%
困ったことは、先生や家族に相談している。	51%	28%	14%	7%
たくさん先生が自分に関わってくれている。	46%	39%	11%	4%

	保護者			
	よく 出来ている	大体 出来ている	あまり 出来ていない	出来ていない
子どもは、先生や友だちに大切にされていると感じる。	19%	73%	7%	1%
人を大切にした言葉づかいや行動を意識させている。	16%	65%	18%	1%
家庭で、進んであいさつするように働きかけている。	29%	58%	13%	0%
家庭で、子どもが話しやすい雰囲気をつくるようにしている。	24%	68%	8%	0%
学校は、教職員がチームとなり、子どもに関わっている。	19%	75%	5%	1%

	教職員			
	よく 出来ている	大体 出来ている	あまり 出来ていない	出来ていない
いつも児童の人間関係に心を配り、児童理解に努めている。	26%	74%	0%	0%
人を大切にした言葉づかいや行動をするように指導している。	26%	74%	0%	0%
子どもたちが進んで挨拶をするように働きかけている。	15%	78%	7%	0%
子どもが話しやすい雰囲気をつくっている。	30%	67%	3%	0%

【地域の方の声】

- ・子どもたちの言葉づかいが気になります。
- ・子どもだけで連なってヘルメットもかぶらずに自転車で走っているのを見かけると、危ないと思う。
- ・下校時、道いっぱいに広がって歩いているのをよく見かけます。
- ・学校周辺の駐車が多く、危険だ。



☆「先生や友だちに大切にされている」

児童・保護者・教職員共に約 90%が「できている」と感じています。しかし、児童の 8%が「あまり出来ていない」、3%が「出来ていない」と感じています。自分は、先生や友だちから大切にされていると感じることができると、学校が安心して過ごせる場所になっていきます。教職員から子どもたちに話しかけ、まずは先生に大切にされていると、子どもたちが感じられる学校を教職員全員で目指していききたいと思います。

☆「人を大切にした言葉づかいや行動を」

児童の 88%ができていると感じており、昨年度より伸びが見られます。しかし、子どもたちの様子を見てみると、休み時間や放課後などの子どもだけの場面になると、言い方がきつかったり、相手を傷つけてしまう言い方をしたりして、トラブルになることもあります。どんな場面でも、人を大切にした言葉づかいや行動ができるようになってほしいと思います。相手を大切にすることというのは、自分も大切にされるということにつながりますね。

☆「自分から進んであいさつをしている」

児童 78%と、昨年度よりもかなりの伸びが見られます。自分からあいさつが出来ている子も増えてきており、登校時大きな声で気持ちのよいあいさつをしてくれている児童もいます。計画委員会からのあいさつ運動など、児童からも進んであいさつができるように取り組んでいます。あいさつは、人と人を繋ぐ第一歩です。相手を大切にするという視点からも自分からあいさつができるようになってほしいですね。

ご多忙の中、学校評価へのご協力ありがとうございました。学校評価の内容を踏まえ、今後の学校運営に生かしていきたいと思っています。今後とも、本校教育に何卒ご理解ご協力いただきますよう、お願いいたします。